

令和7年度「学びのつどい」報告書【様式】

記入日 令和 7年 12月 24日

活動内容

〈題〉 自他を大切にし、地域を愛する心を育てる

学級名 玉山中学校

学級担当者 乳井 明子

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- 構成員：玉山中学校教職員 生徒 保護者 玉山地区青少年健全育成会員 玉山地区学校保健会 玉山地区公民館
- 学級の運営組織：玉山中学校 玉山地区青少年健全育成会 玉山地区学校保健会 玉山地区公民館
- 学習のねらい・重点：講話を通して、知識を習得・思考して、将来に向けた生徒のよりよい心を育成する。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講話題	講師（職・氏名）	参加人数
1	7月23日 (水)	「情報モラル講演会」	岩手県警本部 生活安全部 岩手県警察スクールサポーター 三上 輝夫 様	11名
		内容	感想など	
		3年生とその保護者を対象に、昨今のSNS上のトラブルや闇バイト、詐欺等に巻き込まれる危険性について具体的な事例も挙げてご講話を頂いた。	テレビ等で報道されている事件が身近でも発生していることを知り、生徒は勿論保護者も驚きと緊張感をもって拝聴した。学校だけの指導ではなく、家庭との両輪で未然防止、初期対応に努めていきたいと改めて感じた。	
2	8月7日 (木)	「知ろう、学ぼう、考えよう 私たちの未来を考えるきっかけに」～東日本大震災津波発生から14年 いま改めて考えること～	渋民中学校 校長 小松山 浩樹 様	15名
		内容	感想など	
		震災を経験すると共に、その後「復興教育」の推進役としてご尽力された講師のお話を通して、未来の希望に向かって進んでいくきっかけとなる時間であった。	データや当時の写真を活用し、大震災津波の現実（いきる）から多くのボランティアの献身的な活動（かかわる）、そして、これからの防災・減災意識（そなえる）について具体的なご講話をいただきた。震災を知らない生徒たちの心にも大きく響いた1時間となった。	

3 成果及び今後の課題

（1）成果・活動において工夫したこと など

- 誰もが簡単に利用できるSNSが大きな事件にも繋がる危機性があることを自分事として感じることができた。
- 震災を風化させず、継承していくことの大切さを感じることができた。

（2）今後の課題

- 参加者を増やし、情報を共有、啓発していきたい。

（3）その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など